

返還ガラス固化体の輸送容器の主な測定結果について (全 1 基)

(英国 Sellafield 再処理工場における測定結果の最大値)

項 目		合 格 基 準	結 果
			1 基目
			S11B130* <sup>1</sup> 28 体用
放射 性物 質 の 表 面 密 度	α線を放出する 放射性物質	0.4Bq/cm <sup>2</sup> を 超えないこと	N.D.
	α線を放出しない 放射性物質	4.0Bq/cm <sup>2</sup> を 超えないこと	N.D.
線 量 当 量 率	輸送容器表面	2mSv/h を 超えないこと	0.548 mSv/h
	輸送容器表面から 1m離れた位置	0.1mSv/h を 超えないこと	0.057 mSv/h
温度測定 (補正された表面温度)* <sup>2</sup>		85°Cを 超えないこと	43°C
気密漏洩 (容器本体と蓋部及び オリフィス部の密封部)		1.33×10 <sup>-3</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s を超えないこと	3.45×10 <sup>-4</sup> MPa・cm <sup>3</sup> /s
圧力測定		初期充填圧力が 設定値以下であ ること	18.97kPa

注) \* 1 : 承認容器登録番号

\* 2 : 周囲温度 38°C条件下における表面温度となるように次式で補正した温度

$$(\text{補正温度}) = (\text{測定温度}) - (\text{周囲温度}) + 38^\circ\text{C}$$

N.D. : 検出限界未満を示す。

$$\left[ \begin{array}{l} \alpha \text{線を放出する放射性物質の検出限界} : 0.01\text{Bq/cm}^2 \\ \alpha \text{線を放出しない放射性物質の検出限界} : 0.05\text{Bq/cm}^2 \end{array} \right]$$

Bq : ベクレル 放射性物質が放射線を出す能力 (放射性物質の量) を表す単位  
(1秒間に原子核が壊変する数)

Sv : シーベルト 人間が放射線から受ける影響の度合いを表す単位